



Dell 38 カーブド USB-C ハブ モニター - U3821DW ユーザーズ ガイド

モデル : U3821DW
規定モデル : U3821DWb



 **注**：「注」は、コンピューターをよりよく使いこなすための重要な情報を表します。

 **注意**：「注意」は指示に従わなければ、ハードウェアが故障する危険性、またはデータが消失する危険性を示しています。

 **警告**：「警告」は物件損害、人的被害または死亡の危険性を表します。

Copyright © 2021 Dell Inc. またはその子会社。複製を禁ず。 Dell、EMC、その他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標の所有権は各社にあります。

2021 - 01

Rev. A00

目次

製品の特徴	6
パッケージの内容	6
製品の特徴	8
部品とコントロールの確認	9
正面図	9
背面図	10
底面図	11
モニター仕様	14
解像度仕様	16
ビデオのサポートモード	16
事前設定ディスプレイモード	16
電氣的仕様	17
物理特性	18
環境特性	19
ピン割当	20
プラグアンドプレイ機能	22
ユニバーサル シリアルバス (USB) インターフェース	22
超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1)	22
USB Type-C	22
USB 3.2 アップストリームコネクタ	23
USB 3.2 ダウンストリームコネクタ	23
USB Type-C コネクタ	24
USB ポート	24
RJ45 コネクタ	25
対応 OS	26
LCD モニター品質とピクセルポリシー	26



保守のガイドライン	27
モニターを洗淨する	27
モニターのセットアップ	28
スタンドを取り付ける	28
モニターを接続する	31
DisplayPort (DisplayPort 対 DisplayPort) ケーブルを接続する ..	32
HDMI ケーブルの接続	33
USB Type-C ケーブルの接続	34
超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) ケーブルを接続します	34
RJ45 ケーブル (別売り) でモニターを接続する	36
ケーブルを調整する	36
モニタースタンドを取り外す	37
VESA 壁取り付け (別売り)	38
モニターの操作	39
モニターを電源オンにする	39
ジョイスティックの使い方	39
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用	40
メニューランチャーにアクセスする	40
ナビゲーションキーを使う	41
メニューシステムにアクセスする	42
OSD 警告メッセージ	61
最大解像度を設定する	66
KVM スイッチの設定	67
自動 KVM の設定	69
傾き、旋回、垂直に伸ばす	71
傾き、旋回	71
垂直に伸ばす	71
傾き調整	72




問題を解決する	73
自己テスト	73
内蔵診断	74
よくある問題.....	76
製品特有の問題.....	80
ユニバーサル シリアル バス (USB) 特有の問題.....	81
スピーカー特有の問題.....	83
付録	84
米国連邦通信委員会 (FCC) 通告（米国内のみ）および その他規制に関する情報.....	84
Dell へのお問い合わせ	84
エネルギーラベルおよび製品情報シートが記載された EU 製品データベース	84







製品の特徴

パッケージの内容

モニターには、以下の表に示すコンポーネントがすべて付属しています。不足しているコンポーネントがある場合は、Dell テクニカルサポートまでお問い合わせください。詳細は、[Dell へのお問い合わせ](#)を参照してください。

 注：一部のアイテムはオプションで、モニターに付属していません。機能によっては、特定の国で使用できないものもあります。

 注：本製品に付属されていないスタンドを取り付ける場合は、そのスタンドのメーカーの指示に従って設定してください。

	ディスプレイ
	スタンドライザー
	スタンドベース



	<p>電源ケーブル（国により異なります）</p>
	<p>DisplayPort ケーブル (DisplayPort - DisplayPort)</p>
	<p>HDMI ケーブル</p>
	<p>USB Type-C ケーブル</p>
	<p>超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) アップストリームケーブル（モニターの USB ポートを有効にします）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ クイック セットアップ ガイド ・ 出荷時較正レポート ・ 安全、環境および規制情報



製品の特徴

Dell U3821DW モニターにはアクティブマトリックス、薄膜トランジスタ (TFT)、液晶ディスプレイ (LCD) および LED バックライトが搭載されています。モニターの機能は、以下のようになっています：

- ・ 95.29 cm (37.52 インチ) 表示可能領域 (対角で測定)。
3840 x 1600 (21:9) 解像度、低解像度の場合全画面もサポートしています。
- ・ 広い角度を表示することにより、座った位置からでも、立った位置からでも見ることができます。
- ・ sRGB 100% の色域と、平均 Delta E < 2 を誇る Rec 709 100% は DCI-P3 95% にも対応します。
- ・ DisplayPort、USB Type-C および HDMI でデジタル接続。
- ・ 互換性のあるノートブックに電源供給しながら、動画およびデータ信号を受信するシングル USB Type-C (PD 90 W) です。
- ・ チルト、スイベル、高さ、傾き調整機能。
- ・ マルチ モニター使用時に美しさを損なわないように、溝を非常に薄くすることで溝のギャップをできるだけ小さくしています。
- ・ 取り外し可能なスタンドと VESA™ (ビデオエレクトロニクス規格協会) 100 mm 取り付け穴で柔軟な取付が可能。
- ・ 1 USB Type-C アップストリームポート、1 USB Type-C ダウンストリームポート、1 超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) Type-B アップストリームポート、1 超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) Type-A ダウンストリーム充電ポート、3 超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) Type-A ダウンストリームポート。
- ・ USB-C ポートおよび RJ45 ポートは、1 本のケーブル、ネットワーク接続体験を有効にします。
- ・ システムでサポートされている場合、プラグ アンド プレイ機能。
- ・ オンスクリーン ディスプレイ (OSD) 調整で、セットアップと画面の最適化が容易。
- ・ ピクチャーバイピクチャ (PBP) およびピクチャインピクチャ (PIP) 選択モード対応。
- ・ 内蔵された KVM スイッチは、モニターに接続されたキーボードとマウスを 1 組のセットとして最大で 2 台のコンピューターを制御することができます。
- ・ 複数の入力設定に対して自動 KVM をサポートします。



- ・ 電源ボタンとジョイスティック ボタンをロックします。
- ・ セキュリティ ロック スロット。
- ・ スタンドロック。
- ・ スタンバイモードのとき ≤ 0.3 W。
- ・ 内蔵スピーカー (9 W) $\times 2$ 。
- ・ ちらつき防止スクリーンで目の疲れを軽減します。

⚠ 警告： モニターから放出されるブルーライトを長時間見続けると、眼精疲労、デジタルアイを含め、目に影響を与えます。モニターが放出するブルーライトの量を低減するために、ComfortView 機能が搭載されています。

部品とコントロールの確認

正面図



ラベル	説明
1	<p>電源 LED インジケーター</p> <p>白く点灯すると、モニターの電源が入っており性能が正常であることを意味しています。白く点滅しているときには、モニターがスタンバイモード。</p>



背面図

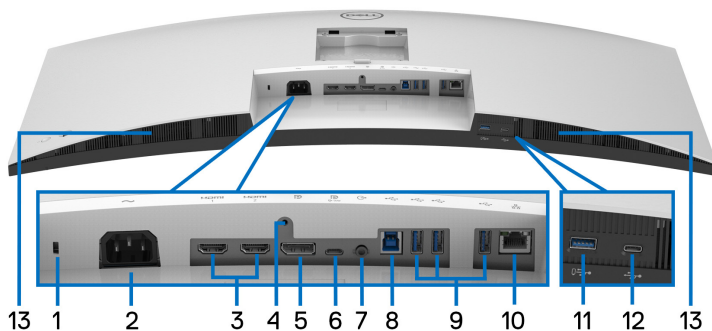


背面図（モニターのスタンド付き）

ラベル	説明	使用
1	VESA 取り付け穴（100 mm x 100 mm - 接続された VESA カバーの背面）	VESA 互換の壁取付キットを使う壁取付モニター（100 mm x 100 mm）。
2	規制ラベル	規制承認を表示します。
3	スタンドリリースボタン	スタンドをモニターから外します。
4	バーコード、シリアル番号、サービスタグ ラベル	技術サポートを受けるには、Dell にお問い合わせください。
5	電源のオン / オフボタン	モニターをオン / オフにします。
6	ジョイスティック	OSD メニューを操作するために使用します。（詳細は、 モニターの操作 を参照してください）
7	ケーブル管理スロット	ケーブルをスロットに通してケーブル類を整理するために使います。



底面図



モニタースタンドなし底面図

ラベル	説明	使用
1	セキュリティ ロックスロット	セキュリティ ロックでモニターを固定します（セキュリティ ロックは含まれません）。
2	電源コネクター	電源ケーブルを接続します（モニター付属）。
3	HDMI ポート (2)	コンピューターに HDMI ケーブルを接続してください（モニター付属）。
4	スタンドのロック機能	M3 x 6 mm ネジを使ってスタンドをモニターにロックする（ネジは含まれていません）。
5	DisplayPort	コンピューターに DisplayPort ケーブルを接続してください（モニター付属）。



6	USB Type-C アップストリームポート	<p>モニターに付属されている USB Type-C ケーブルをコンピューターまたはモバイルデバイスに接続します。このポートは、USB パワーデリバリー、データと DisplayPort ビデオ信号に対応します。</p> <p>超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) Type-C ポートは、DP 1.4 代替モードは 60 Hz、PD 20 V/4.5 A、15 V/3 A、9 V/3 A、5 V/3 A で最大解像度 3840 x 1600 を実現します。</p> <p>注： USB Type-C は Windows 10 以前のバージョンではサポートされていません。</p>
7	オーディオ出力ポート	スピーカーに接続してください。*
8	超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) Type-B アップストリームポート	モニターに付いてきた USB ケーブルをモニターとコンピューターに接続してください。接続すると、モニターにある USB 接続を使用できます。
9	超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) Type-A ダウンストリームポート (3)	<p>USB 3.2 Gen1 (5Gbps) デバイスを接続します。**</p> <p>注： これらのポートを使用するには、モニターの USB アップストリームポートとコンピューターに USB ケーブル (モニター付属) を接続する必要があります。</p>
10	RJ45 ポート	Ethernet 接続 10/100/1000 Mbps をサポートします。
11	充電付き超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) Type-A ダウンストリームポート	<p>USB デバイス ** に接続したり、デバイスを充電したりします。</p> <p>注： このポートを使用するには、モニターの USB Type-C アップストリームポートまたは USB Type-B アップストリームポートとコンピューターに USB Type-C ケーブルまたは USB アップストリームケーブル (モニター付属) を接続する必要があります。</p>



12	USB Type-C ダウンストリームポート	<p>USB デバイスを接続します。**</p> <p>注：このポートを使用するには、モニターの USB Type-C アップストリームポートまたは USB Type-B アップストリームポートとコンピューターに USB Type-C ケーブルまたは USB アップストリームケーブル（モニター付属）を接続する必要があります。</p>
13	スピーカー	オーディオ出力。

* オーディオ出力コネクタでは、ヘッドフォンを使用することはできません。

** 信号障害を防止するために、ワイヤレス USB デバイスを USB ダウンストリームポートに接続しているときには、他の USB デバイスを隣のポートに繋ぐことはお勧めしません。



モニター仕様

モデル	U3821DW
スクリーンタイプ	有効マトリックス - TFT LCD
パネルテクノロジー	In Plane Switching テクノロジー
アスペクト比	21:9
表示可能画像	
対角	952.9 mm (37.52 インチ)
幅 (有効エリア)	890.0 mm (35.04 インチ)
縦 (有効エリア)	387.8 mm (15.27 インチ)
合計エリア	345142 mm ² (535.06 インチ ²)
ピクセルピッチ	0.22908 mm x 0.22908 mm
ピクセル/インチ (PPI)	110.87
表示角度	178° (垂直) 標準 178° (水平) 標準
ルミナンス出力	300 cd/m ² (標準)
コントラスト比	1000 対 1 (標準)
面板コーティング	硬度 3H の抗グレア
バックライト	白 LED エッジライト方式
応答時間	8 ms (標準) 5 ms (高速)
湾曲	R2300 (標準)
色の深さ	10.7 億色
色域	sRGB 100%、Rec 709 100%、DCI-P3 95%
キャリブレーション精度	sRGB & Rec 709 : Delta E < 2 (平均)



接続性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 x HDMI ポートバージョン 2.0 ・ 1 x DisplayPort バージョン 1.4 ・ 1 x USB Type-C アップストリーム ポート (DisplayPort 1.4、最大 90 W のパワーデリバリー PD の代替モード) * ・ 1 x 超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) Type-B アップストリーム ポート ・ 3 x 超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) ダウンストリーム ポート ・ 1 x 超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) (2 A (最大) で BC1.2 充電) ・ 1 x USB Type-C ダウンストリームポート (15 W (最大) で充電) ・ 1 x オーディオ出力ポート ・ 1 x RJ45 ポート
境界幅 (モニターの端からアクティブエリアまで)	10.5 mm (上) 10.0 mm (左 / 右) 15.3 mm (底面)
調整	
高さ調整スタンド	120 mm
傾き	-5° ~ 21°
スイベル	-30° ~ 30°
傾き調整	-4° ~ 4°
注：本製品が故障するため、本製品を縦方向にマウントまたは使用したり、横方向に回転 (180°) させたりしないでください。	
内蔵スピーカー	2 x 9 W サウンド出力
Dell Display Manager 対応	簡単配列とその他の主要機能
セキュリティ	セキュリティ ロックスロット (ケーブルロックは別売りです)

*DisplayPort および USB Type-C (DisplayPort 1.4 の代替モード) : HBR3/DisplayPort 1.4/DP オーディオに対応します。



解像度仕様

モデル	U3821DW
水平走査幅	30 kHz ~ 100 kHz (自動)
垂直走査幅	56 Hz ~ 76 Hz (自動)
事前設定の最高解像度	60 Hz で 3840 x 1600

ビデオのサポートモード

モデル	U3821DW
ビデオ表示機能 (HDMI & DisplayPort & USB Type-C 代替モード)	480p、480i、576p、576i、720p、1080i、1080p

事前設定ディスプレイ モード

ディスプレイ モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	周波数 (MHz)	同期極 (水平 / 垂直)
VESA、640 x 480	31.5	59.9	25.2	-/-
VESA、640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA、720 x 400	31.5	70.1	28.3	-/+
VESA、800 x 600	37.9	60.3	40.0	+/+
VESA、800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA、1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA、1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA、1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA、1280 x 800 - R	49.3	59.9	71.0	+/-
VESA、1280 x 1024	64.0	60.0	108.0	+/+
VESA、1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA、1600 x 1200	75.0	60.0	162.0	+/+



VESA、1920 x 1080	67.5	60.0	148.5	+/+
VESA、2560 x 1440	88.8	60.0	241.5	+/-
VESA、3840 x 1600*	98.8	60.0	395.0	+/-

* グラフィックカードが HDMI 2.0 に対応していなければなりません。

電氣的仕様

モデル	U3821DW
ビデオ入力信号	HDMI 2.0*/DisplayPort 1.4**、各差動線路毎に 600 mV、作動ペアあたり 100 ohm 入力インピーダンス
AC 入力電圧 / 周波数 / 電流	100 VAC から 240 VAC / 50 Hz または 60 Hz ± 3 Hz / 3.0 A (標準)
インラッシュ電流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 120 V : 40 A (最大) (0°C で) (コールドスタート) ・ 240 V : 80 A (最大) (0°C で) (コールドスタート)
電源消費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0.3 W (オフモード)¹ ・ 0.3 W (スタンバイモード)¹ ・ 36.5 W (オンモード)¹ ・ 230 W (最大)² ・ 33.64 W (Pon)³ ・ 105.47 kWh (TEC)³

*HDMI Ethernet Channel (HEC)、Audio Return Channel (ARC)、3D フォーマットの規格および解像度、4K デジタルシネマ解像度の規格など、HDMI 2.0 オプション仕様には対応していません。

**HBR3/DisplayPort 1.4/DP オーディオに対応します。

¹ EU 2019/2021 および EU 2019/2013 に定義されるとおりです。

² すべての USB ポートにおいて、最大電力入力の最大輝度およびコントラストの設定です。

³ Pon : オンモードの電源消費は、Energy Star 8.0 バージョンで定義されているとおりです。

TEC : 合計電力消費量 (kWh) は、Energy Star 8.0 バージョンで定義されているとおりです。



本書は参考用に提供するものであり、試験室での性能を基に作成されています。お客様の製品は、お使いになるソフトウェア、コンポーネント、周辺機器により異なり、本書の情報と必ずしも一致しない場合があります。

したがって、この情報を基に裕度を決定することはお止めください。精度や完成度について一切保障いたしません。



注：本モニターは ENERGY STAR に準拠しています。

本製品は初期値において、ENERGY STAR の条件を満たしています。OSD メニューの「工場リセット」機能により、いつでも設定を戻すことができます。初期値を変更したり、他の機能を有効にしたりすると、電力消費量が上がり ENERGY STAR が指定した上限を超える場合があります。



物理特性

モデル	U3821DW
信号ケーブルタイプ	<ul style="list-style-type: none">デジタル：DisplayPort、20 ピンデジタル：HDMI、19 ピンユニバーサル シリアル バス：Type-C、24 ピン
注： Dell モニターは、本機に付属するビデオケーブルを使用したときに最高の性能を発揮するよう設計されています。Dell はこれ以外のケーブル製造会社の製品について、素材、コネクタ、これらのケーブルの生産工程等の点において責任を負うことができません。そのため、Dell は Dell モニターに付属しないケーブルのビデオ性能については保証いたしかねます。	
寸法（スタンド付き）	
高さ（引き伸ばし時）	563.8 mm（22.20 インチ）
高さ（圧縮）	443.8 mm（17.47 インチ）
幅	894.3 mm（35.21 インチ）
奥行き	251.2 mm（9.89 インチ）
寸法（スタンドなし）	
高さ	392.3 mm（15.44 インチ）
幅	894.3 mm（35.21 インチ）
奥行き	102.4 mm（4.03 インチ）



スタンド寸法	
高さ（引き伸ばし時）	438.3 mm（17.26 インチ）
高さ（圧縮）	318.3 mm（12.53 インチ）
幅	385.0 mm（15.16 インチ）
奥行き	251.2 mm（9.89 インチ）
ベース	385.0 mm x 247.9 mm（15.16 インチ x 9.97 インチ）
重量	
重さ（パッケージ含む）	19.9 kg（43.78 lb）
重さ（スタンドアセンブリとケーブルを含む）	13.6 kg（29.98 lb）
重さ（スタンドアセンブリなし）（壁取付または VESA 取付用 - ケーブルなし）	8.8 kg（19.40 lb）
スタンドアセンブリの重さ	4.33 kg（9.55 lb）

環境特性

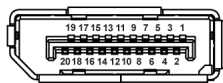
モデル	U3821DW
準拠規格	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ENERGY STAR 認証モニター ・ 該当する場合は EPEAT 登録されています。EPEAT 登録は国により異なります。国別の登録状況については、www.epeat.net をご覧ください。 ・ RoHS 準拠 ・ TCO 認証ディスプレイ ・ 非 BFR/PVC モニター（外部ケーブルを除く） ・ パネルのみ無ヒ素ガラスかつ無水銀です 	
温度	
運転時	0°C ~ 40°C（32°F ~ 104°F）
非運転時	<ul style="list-style-type: none"> ・ ストレージ：-20°C ~ 60°C（-4°F ~ 140°F） ・ 輸送時：-20°C ~ 60°C（-4°F ~ 140°F）



湿度	
運転時	10% ~ 80% (結露しないこと)
非運転時	<ul style="list-style-type: none"> ・ ストレージ : 5% ~ 90% (結露しないこと) ・ 輸送時 : 5% ~ 90% (結露しないこと)
高度	
運転時	5000 m (16404 ft) (最大)
非運転時	12192 m (40000 ft) (最大)
熱発散	<ul style="list-style-type: none"> ・ 784.8 BTU/時 (最大) ・ 124.5 BTU/時 (標準)

ピン割当

DisplayPort コネクタ

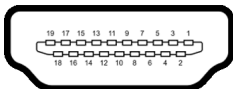


ピン数	接続した信号ケーブルの20ピン側
1	ML3 (n)
2	GND
3	ML3 (p)
4	ML2 (n)
5	GND
6	ML2 (p)
7	ML1 (n)
8	GND
9	ML1 (p)
10	ML0 (n)
11	GND
12	ML0 (p)
13	GND



14	GND
15	AUX (p)
16	GND
17	AUX (n)
18	ホットプラグ検出
19	Re-PWR
20	+3.3 V DP_PWR

HDMI コネクタ



ピン数	接続した信号ケーブルの 19 ピン側
1	TMDS データ 2+
2	TMDS データ 2 シールド
3	TMDS データ 2-
4	TMDS データ 1+
5	TMDS データ 1 シールド
6	TMDS データ 1-
7	TMDS データ 0+
8	TMDS データ 0 シールド
9	TMDS データ 0-
10	TMDS クロック +
11	TMDS クロックシールド
12	TMDS クロック -
13	CEC
14	予約済み (デバイスの N.C.)
15	DDC クロック信号 (SCL)



16	DDC データ (SDA)
17	DDC/CEC 接地
18	+5 V 電源
19	ホットプラグ検出

プラグアンドプレイ機能

プラグアンドプレイ互換システムで、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイ データ チャンネル (DDC) プロトコルを使って、コンピューターシステムに拡張ディスプレイ特定データ (EDID) を自動的に提供するため、システムが、自己設定により、モニター設定を最適化します。ほとんどのモニターインストールは自動で行われます。必要に応じて異なる設定を選択できます。モニター設定の変更の詳細については、[モニターの操作](#)を参照してください。

ユニバーサル シリアルバス (USB) インターフェース

本項では、モニターで使用できる USB ポートについて説明します。

超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1)

転送速度	データ率	対応する最大電力 *
超高速	5Gbps	5 V/0.9 A (各ポート最大)
高速	480Mbps	5 V/0.9 A (各ポート最大)
全速度	12Mbps	5 V/0.9 A (各ポート最大)

*BC1.2 準拠デバイスまたは標準の USB デバイスの USB ダウンストリームポート ( 電池アイコン付き) で最大 2 A。

 **注**：本製品は 超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) に対応しています。

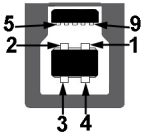
USB Type-C

USB Type-C	説明
ビデオ	DisplayPort 1.4*
データ	超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1)
パワーデリバリー (PD)	最大 90 W

*HBR3/DisplayPort 1.4/DP オーディオに対応します。



USB 3.2 アップストリームコネクタ



ピン数	9 ピン (コネクタの側面に表示)
1	VCC
2	D-
3	D+
4	GND
5	SSTX-
6	SSTX+
7	GND
8	SSRX-
9	SSRX+

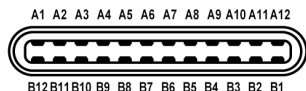
USB 3.2 ダウンストリームコネクタ



ピン数	9 ピン (コネクタの側面に表示)
1	VCC
2	D-
3	D+
4	GND
5	SSRX-
6	SSRX+
7	GND
8	SSTX-
9	SSTX+





USB Type-C コネクター




ピン数	信号名	ピン数	信号名
A1	GND	B1	GND
A2	TX1+	B2	TX2+
A3	TX1-	B3	TX2-
A4	VBUS	B4	VBUS
A5	CC1	B5	CC2
A6	D+	B6	D+
A7	D-	B7	D-
A8	SBU1	B8	SBU2
A9	VBUS	B9	VBUS
A10	RX2-	B10	RX1-
A11	RX2+	B11	RX1+
A12	GND	B12	GND

USB ポート

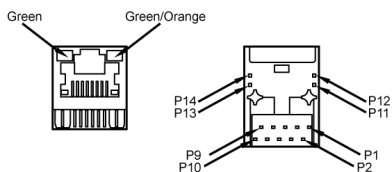
- ・ 1 USB Type-C アップストリーム - 底面
 - ・ 1 USB Type-C ダウンストリーム - 底面
 - ・ 1 超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) Type-B アップストリーム - 底面
 - ・ 4 超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) Type-A ダウンストリーム - 底面
- 充電ポート -  電池アイコンが示されたポート。BC1.2 互換機器使用時に最大 2 A の高速充電に対応。

 注：超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) の機能を活用するには、超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) 対応コンピューターが必要です。

 注：モニターの USB ポートは、モニターがオンのとき、またはスタンバイモードに入っているときのみ作動します。モニターをオフにしてから再びオンにすると、接続された周辺機器は数秒後に通常の機能を回復します。



RJ45 コネクター



ピン数	接続した信号ケーブルの 14 ピン側	
P1	MDI0+	
P2	MDI0-	
P3	MDI1+	
P4	MDI1-	
P5	CT	
P6	CT	
P7	MDI2+	
P8	MDI2-	
P9	MDI3+	
P10	MDI3-	
ピン数	緑	オレンジ
P11	+	-
P12	-	+
P13	+	該当なし
P14	-	該当なし




対応 OS

OS	バージョン
Windows	<ul style="list-style-type: none">・ Win 7 (LAN ドライバ V7.48)・ Win 8、8.1 (LAN ドライバ V8.55)・ Win 10 (LAN ドライバ V10.34)
Linux OS (Chrome、Android、その他 Linux ベースの OS)	カーネルバージョンをベースとした Linux OS は V4.15 またはそれ以前のバージョン (LAN ドライバ V2.12.0) に対応
macOS	V10.6 - V10.15 (LAN ドライバ V1.0.20)

USB-C 経由のネットワーク (RJ45) データレート :

- ・ 高解像度 : 最大 480 Mbps
- ・ 高データ速度 : 最大 1000 Mbps

 **注 : この LAN ポートは 1000Base-T IEEE 802.3az 互換です。スタンバイ (S3 のみ) モードからの Mac アドレス パススルーおよび Wake-on-LAN (WOL) に対応します。また、UEFI PXE および汎用 PXE を含め PXE ブート機能にも対応します。**

LCD モニター品質とピクセルポリシー

LCD モニターの製造プロセスにおいて、いくつかのピクセルが特定の状態に固定されることはよくあります。見つけにくく、表示品質および使い勝手に影響しません。Dell 社のモニターの品質とピクセルに関する方針の詳細は、www.dell.com/pixelguidelines をご覧ください。



保守のガイドライン

モニターを洗淨する

- △ **注意**：モニターの洗淨前には、**安全指示**を読み、その指示に従ってください。
- ⚠ **警告**：モニターの洗淨前には、電源コンセントからモニター電源ケーブルを外してください。

最高の性能を引き出すために、モニターを開梱、洗淨、または操作している間、以下のリストの指示に従ってください：

- ・ 静電気防止スクリーンを洗淨するには、柔らかい、きれいな布を水で軽く湿らせてください。できれば、特殊スクリーン洗淨ティッシュまたは静電気防止コーティングに適して溶液を使用してください。ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、または圧縮空気は使用しないでください。
- ・ めるま湯で軽く湿らせた布を使用して、モニターを洗淨します。合成洗剤によりモニターの乳白色のフィルムがはがれることがあるため、合成洗剤の使用は避けてください。
- ・ モニターの梱包を開けている間に白いパウダーにお気づきになりましたら、布で拭き取ってください。
- ・ 暗いプラスチックは、明るいモニターより白いカフマークを削り、表示するため、モニターの取り扱いには注意してください。
- ・ モニターの画像品質を最高の状態に保つために、スクリーンセーバーを作動し、使用しないときはモニターの電源をオフにしてください。



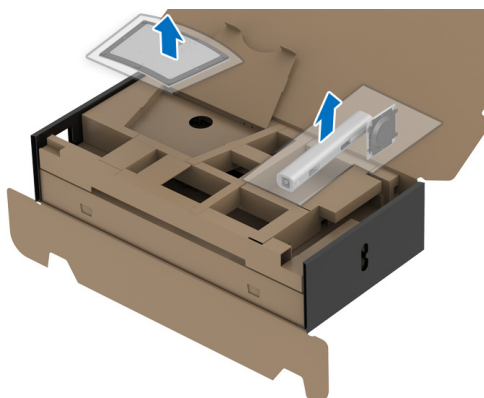
モニターのセットアップ

スタンドを取り付ける

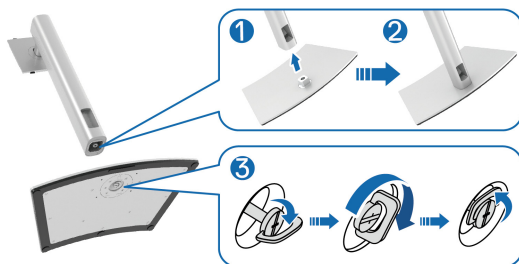
- 注：出荷時には、スタンドは設置されていません。
- 注：次の手順は、モニター付属のスタンドを接続するための説明です。本製品に付属されていないスタンドを取り付ける場合は、そのスタンドのメーカーの指示に従って設定してください。

モニタースタンドを取り付けるには：

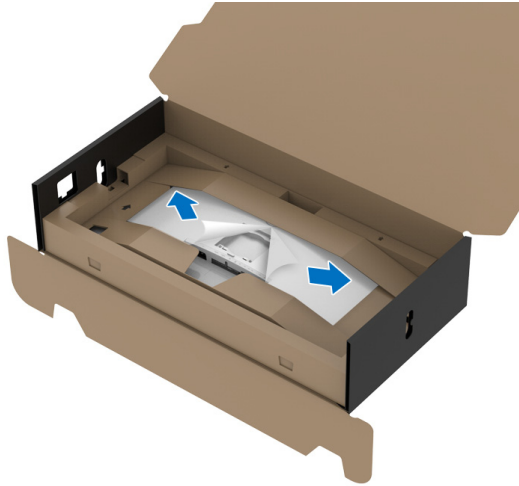
1. 箱のふた部分に記載された指示に従って、スタンドを保護しているクッション材を取り外してください。
2. ゆっくりとスタンドライザーとスタンドベースを発砲スチロールから取り出します。




3. スタンドベースの突起部分がスタンドのスロットにしっかり収まるように挿入します。
4. ネジ用ハンドルを持ち上げて、右に回します。
5. ネジをしっかりと締めたら、ネジ用ハンドルを元の位置に戻してください。



6. 図に示すとおり、カバーを開けるとスタンドアセンブリの VESA 部分が現れます。



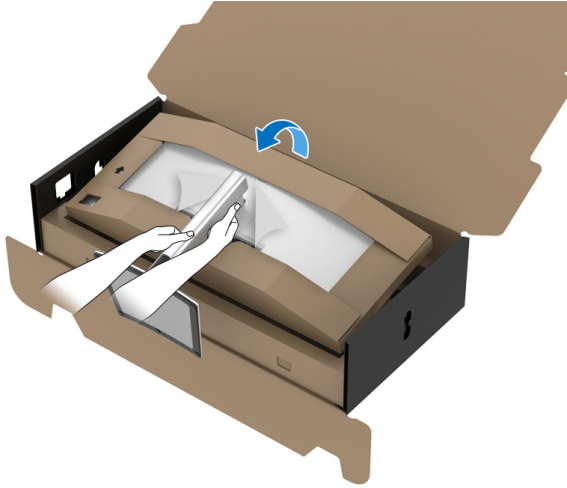
 注：ディスプレイにスタンドを取り付ける前に、フロントプレートフラップを開きスタンドを取り付けるためのスペースを確保してください。

7. スタンドアセンブリをディスプレイに取り付けます。

- a. ディスプレイ背面の溝をスタンド上部の 2 つのタブに合わせます。
- b. スタンドを押して、はめ込んでください。

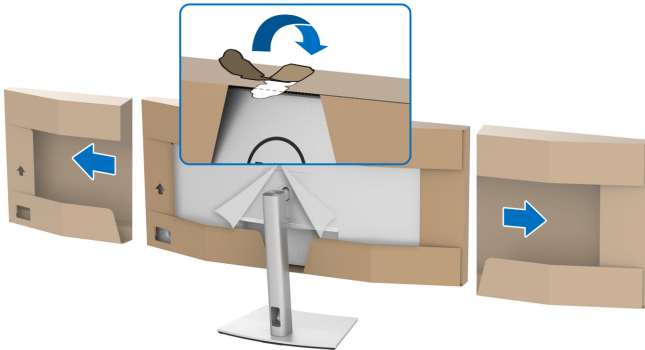


8. 保護クッションを設置してモニターを正しい位置に設置します。

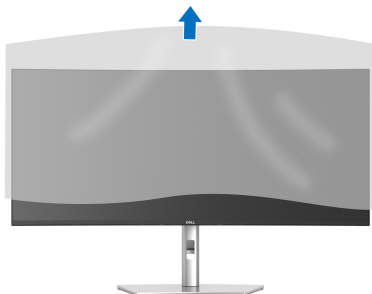


注：モニターが滑ったり、落ちたりしないように、そっと持ち上げてください。

9. 保護クッションの中央部分にあるジッパー打ち抜きを破り、モニターの左右から保護クッションを外します。



10. モニターからカバーを外します。



モニターを接続する

⚠ 警告：このセクションで手続きをはじめの前に、[安全指示](#)に従ってください。

✎ 注：Dell モニターは、Dell 提供の同梱ケーブルと最適な状態で機能するように設計されています。Dell は Dell 製でないケーブルを使用した場合の映像品質および性能については保証いたしません。

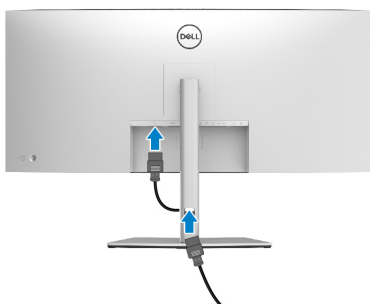
✎ 注：ケーブルを接続する前に、ケーブルスロットにケーブルを通して整理してください。

✎ 注：すべてのケーブルを同時にコンピューターに接続しないでください。

✎ 注：画像は、実例を示す目的で使用されます。コンピューターの外観は変わることがあります。

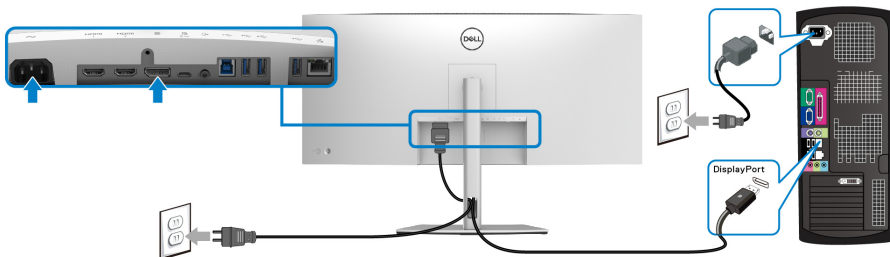
モニターをコンピューターに接続する：

1. コンピューターの電源をオフにして、電源ケーブルを外します。
2. スタンドのケーブル管理スロットに電源ケーブルを通してから、モニターに接続します。




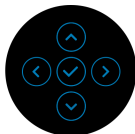
3. モニターの DisplayPort、HDMI、USB Type-C ケーブルをコンピューターにつなぎます。

DisplayPort (DisplayPort 対 DisplayPort) ケーブルを接続する



注：工場出荷時のデフォルト値は DP1.4 です (DP1.2 には対応していません)。DisplayPort ケーブルを接続してもモニターに何も表示されない場合は、次の手順にしたがって設定を DP1.1 に変更してください。

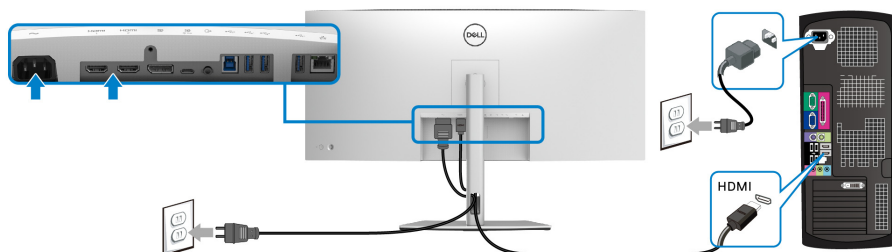
- ・ ジョイスティックを押してメニューランチャーを起動します。
- ・ ジョイスティックを上動かして  を選択し、OSD メインメニューをアクティベートします。
- ・ ジョイスティックをトグルして入力信号を選択し、ジョイスティックを押してサブメニューに入ります。
- ・ ジョイスティックをトグルして DP を選択します。
- ・ ジョイスティックを約 8 秒間押し続けると、DisplayPort 構成メッセージが表示されます。
- ・ ジョイスティックをトグルしてはいを選択し、ジョイスティックを押して変更内容を保存します。




必要であれば、上記の手順を繰り返して DisplayPort フォーマットの設定を変更してください。

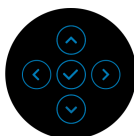


HDMI ケーブルの接続



注：工場出荷時のデフォルト値は、HDMI 2.0 に設定されています。HDMI ケーブルを接続してもモニターに何も表示されない場合は、次の手順にしたがって設定を HDMI 2.0 から HDMI 1.4 に変更してください：

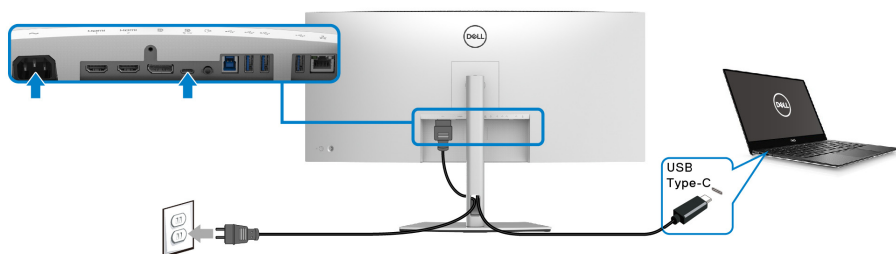
- ・ ジョイスティックを押してメニューランチャーを起動します。
- ・ ジョイスティックを上に向かって  を選択し、OSD メインメニューをアクティベートします。
- ・ ジョイスティックをトグルして入力信号を選択し、ジョイスティックを押してサブメニューに入ります。
- ・ ジョイスティックをトグルして **HDMI** を選択します。
- ・ ジョイスティックを約 8 秒間押し続けると、DisplayPort 構成メッセージが表示されます。
- ・ ジョイスティックをトグルして **はい** を選択し、ジョイスティックを押して変更内容を保存します。



必要であれば、上記の手順を繰り返して HDMI フォーマットの設定を変更してください。



USB Type-C ケーブルの接続



注：モニター付属の USB Type-C ケーブル以外はご使用にならないください。

- ・ このポートは DisplayPort 代替モード（DP1.4 規格専用）に対応します。
- ・ USB Type-C パワーデリバリー準拠ポート（PD バージョン 3.0）は、最大 90 W の電源を供給します。
- ・ 90 W 以上を必要とするノートブックで、バッテリーの残量がなくなっている場合は、ノートブックが起動しない場合があります。または、本機の USB PD ポートで充電されます。

超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) ケーブルを接続します

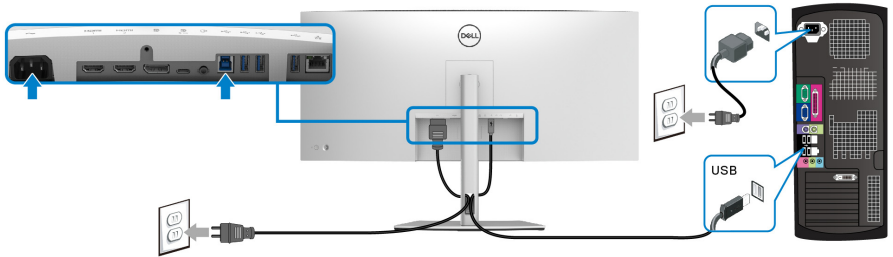
注：データの破損や損失を防止するために、USB アップストリームポートを外す前に、モニターの USB ダウンストリームポートに接続されているコンピューターが USB ストレージデバイスを使用していないことを確認してください。

DisplayPort/HDMI/USB Type-C ケーブルを接続したら、以下の手順に従って USB ケーブルをコンピューターに接続し、モニターのセットアップを完了してください。

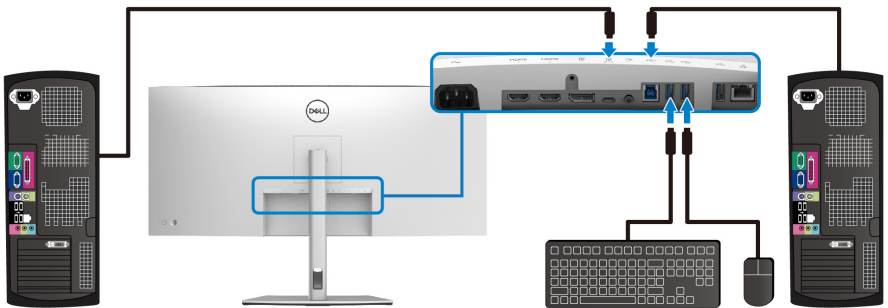
- a. 1 台のコンピューターを接続する場合：** USB 3.2 Gen1 アップストリームケーブル（付属のケーブル）をモニターのアップストリームポートに、次にコンピューターの適切な USB 3.2 Gen1 ポートに接続します。
- b. 2 台のコンピューターを接続する場合*：** USB 3.2 (Gen1) アップストリームポート（付属のケーブル）と USB Type-C アップストリームポート（付属のケーブル）を 2 台のコンピューターの適切な USB ポートに接続してください。次に、OSD メニューで USB アップストリームソースと入力ソースを選択します。USB を参照してください。



2. USB 周辺機器は、モニター上の USB ダウンストリーム ポートに接続します。
3. コンピューターとモニターの電源ケーブルを近くのコンセントに差し込みます。



a. 1 台のコンピューターを接続する場合



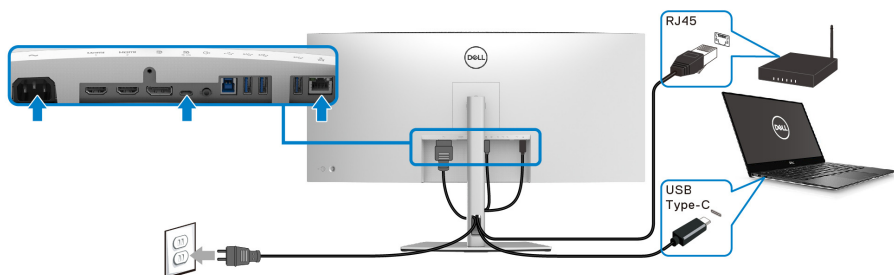
b. 2 台のコンピューターを接続する場合

* 本製品を 2 台のコンピューターに接続する場合は、2 台のコンピューターを接続したモニターに繋いだキーボードとマウス 1 組を共有するために OSD メニューから **USB 設定** を構成します。詳細は、**USB** および **KVM スイッチの設定** を参照してください。

4. モニターおよびコンピューターの電源をオンにします。
モニターに画像が表示されたら、インストールは完了します。画像が表示されない場合は、よくある問題を参照してください。

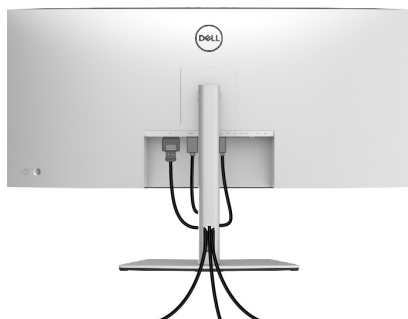


RJ45 ケーブル（別売り）でモニターを接続する



注： RJ45 ケーブルは標準アクセサリとしては同梱されていません。

ケーブルを調整する

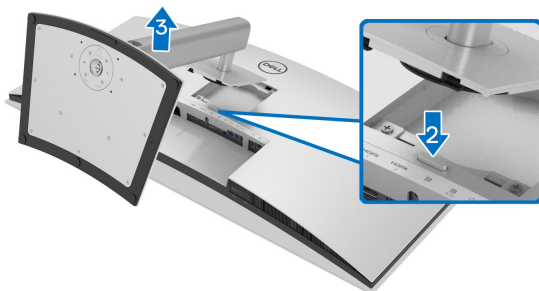


モニターおよびコンピューターに必要なケーブルすべてを取り付けた後、
(ケーブルの取り付けについては、[モニターを接続する](#)を参照してください)
上記のとおり、ケーブル管理スロットを使って、すべてのケーブルを適切に調整します。



モニタースタンドを取り外す

- 注：台を取り外している間に LCD スクリーンに傷が付かないように、モニターは必ずきれいな面に置くようにしてください。
- 注：次の手順は、モニター付属のスタンドを取り外すための説明です。本製品に付属されていないスタンドを外す場合は、そのスタンドのメーカーの指示に従って設定してください。

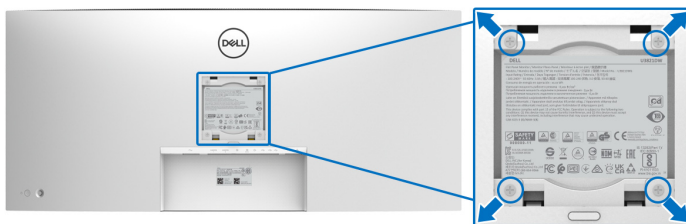


スタンドを取り外すには：

1. 柔らかい布またはクッションの上にモニターを置きます。
2. スタンドリリースボタンを押し下げます。
3. スタンドを持ち上げ、モニターから離します。




VESA 壁取り付け（別売り）



（ネジの寸法：M4 x 10 mm）。

VESA 互換壁取り付けキットに付いている使用説明書を参照してください。

1. モニターのパネルを、安定した平らなテーブルの柔らかい布またはクッションの上に置きます。
2. スタンドを外します。（[モニタースタンドを取り外す](#)を参照してください。）
3. プラスドライバーを使って、プラスチックカバーを固定している4つのネジを外します。
4. 壁取り付けキットのブラケットをモニターに取り付けます。
5. モニターを壁に取り付けます。詳細は、壁取り付けキットの説明書をお読みください。

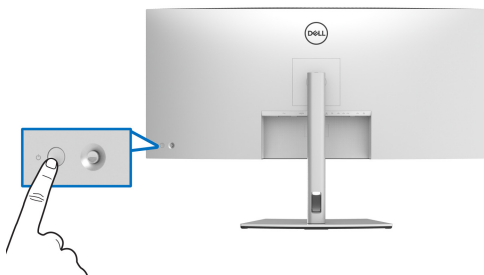
 **注：35.2 kg の最小重量 / 負荷支持強度を持つ UL または CSA または GS 指定の壁取り付けブラケットでのみ使用できます。**



モニターの操作

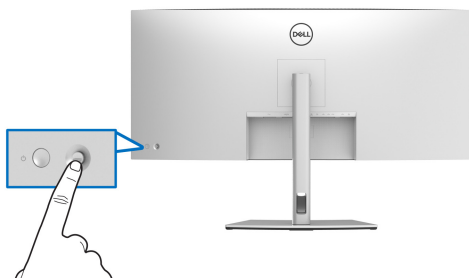
モニターを電源オンにする

電源ボタンを押してモニターをオンにします。



ジョイスティックの使い方

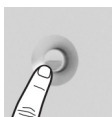
モニター背面にあるジョイスティック コントロールで OSD (On-Screen Display) を調整します。



1. ジョイスティックを押してメニューランチャーを起動します。
2. ジョイスティックを上 / 下 / 左 / 右に動かして、オプションを移動します。
3. ジョイスティックを再度押して、選択内容を確定します。

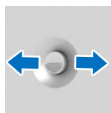
ジョイスティック

説明

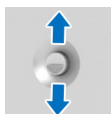


- ・ 画面に OSD が表示されない場合は、ジョイスティックを押してメニューランチャーを起動します。[メニューランチャーにアクセスする](#)を参照してください。
- ・ OSD が表示されたら、ジョイスティックを押すと選択肢が確定されて設定が保存されます。





- ・ 2方向ナビゲーション（左右）です。
- ・ 右に動かすとサブメニューが表示されます。
- ・ 左に動かすとサブメニューが終了します。



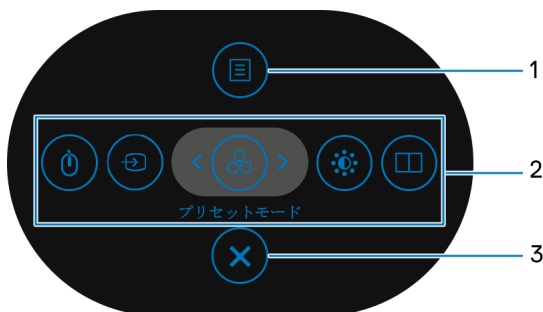
- ・ 2方向ナビゲーション（上下）です。
- ・ メニュー項目を切り替えます。
- ・ 選択したメニュー項目の値を上げたり（上）、下げたり（下）します。

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用


メニューランチャーにアクセスする

ジョイスティックをトグルするか押すと、OSD メインメニューやショートカット機能にアクセスできるようにメニューランチャーが表示されます。

機能を選択するには、ジョイスティックを動かします。



次の表は、メニューランチャー機能についてまとめたものです：

ラベル	アイコン	説明
1	 メニュー	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メインメニューが開きます。 メニューシステムにアクセスする を参照してください。



2



ジョイスティックを左右に動かすと、ショートカット機能が切り替わり、選択した項目がハイライトされ中央の位置に表示されます。ジョイスティックを押してサブメニューを開きます。



・ **USB スイッチ**：PIP/PBP モードで USB アップストリーム ソースを切り換えます。



・ **入力信号**：モニターに接続されているビデオ信号一覧から入力信号を選択します。



・ **プリセットモード**：プリセットモードの一覧からカラーモードを選択できます。



・ **輝度/コントラスト**：輝度およびコントラストの調整スライダーが表示されます。

ショートカット機能

・ **PIP/PBP モード**：プリセット一覧から、サブ画面のサイズと位置が異なる PBP または PIP モードを選択できます。

注：設定を変更した後は、別な機能を実行したり、終了したりする前にジョイスティックを押して変更内容を保存してください。

3

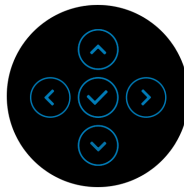


メニューランチャーを終了します。


終了

ナビゲーションキーを使う

OSD メインメニューが有効に設定された状態で、OSD の下にナビゲーションキーが表示された後でジョイスティックを動かして設定を行います。





設定を変更した後は、別なメニューを表示したり、OSD メニューを終了したりする前にジョイスティックを押して変更内容を保存してください。

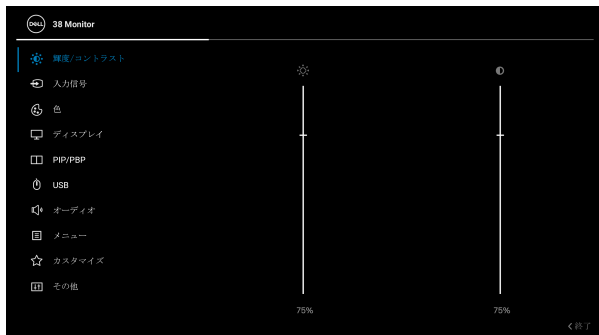
 注：現在のメニュー項目を終了し、前のメニューに戻ります。終了するまでジョイスティックを左に動かします。



メニューシステムにアクセスする

 **注：**設定を変更した後は、別なメニューを表示したり、OSDメニューを終了したりする前にジョイスティックを押して変更内容を保存してください。

アイコン	メニューとサブメニュー	説明
	輝度/コントラスト	このメニューを使って 輝度/コントラスト調整 を有効にします。



輝度 **輝度**は、バックライトの輝度を調整します。輝度を上げるにはジョイスティックを上にかかします。または、輝度を下げるにはジョイスティックを下にかかします（最小 0/ 最大 100）。

コントラスト まず**輝度**を調整し、それでも調整が必要な場合のみ**コントラスト**を調整します。コントラストを上げるにはジョイスティックを上にかかします。または、コントラストを下げるにはジョイスティックを下にかかします（最小 0/ 最大 100）。

コントラスト機能は、モニターの画面の暗い部分と明るい部分の違いの程度を調整します。





入力信号

入力信号メニューを使って、モニターに接続されたさまざまなビデオ信号を選択します。



USB-C 90W	USB Type-C コネクタを使用しているときには、 USB-C 90W 入力を選択します。ジョイスティックを押して、選択内容を確定します。
DP	DisplayPort (DP) コネクタを使用しているとき、 DP を選択します。ジョイスティックを押して、選択内容を確定します。
HDMI 1	HDMI 1 コネクタを使用しているとき、 HDMI 1 を選択します。ジョイスティックを押して、選択内容を確定します。
HDMI 2	HDMI 2 コネクタを使用しているとき、 HDMI 2 を選択します。ジョイスティックを押して、選択内容を確定します。
自動選択	これをオンにすると、仕様可能な入力信号をスキャンできます。



USB-C の自動 選択

USB-C の自動選択を設定できます：

- ・ **複数入力を求めるプロンプト**：切り換えるかどうかを選択するために、常に「**USB-C ビデオ入力への切り替え**」メッセージが表示されません。
- ・ **はい**：USB Type-C ケーブルを接続した場合は、常に USB-C ビデオ入力に切り替えます（確認メッセージなし）。
- ・ **いいえ**：USB Type-C ケーブルを接続した場合は、USB-C ビデオ入力に切り替えません。

ジョイスティックを押して、選択内容を確定します。

注：このオプションは、**自動選択**がオンの場合のみ使用できます。

入力の名前を 変更

選択した入力信号のプリセットの入力名を指定できます。プリセットの選択肢は、**PC**、**PC 1**、**PC 2**、**ラップトップコンピューター**、**ラップトップコンピューター 1**、**ラップトップコンピューター 2**です。デフォルト設定は**オフ**です。

注：USB-C 入力の名前を変更する場合、指定されたオプション（例：**PC 1** ⇨ **90W**）の後はワット値は変わりません。

注：これはショートカットメニューとメインメニューに表示される入力名のみ該当し、警告メッセージに表示されるものは対象外です（PBP、KVM、**ディスプレイ情報**）。

入力信号のリ セット

モニターの入力設定を工場出荷時の設定にリセットします。





色

色を使って色設定モードを調整します。



プリセット モード

プリセットカラーモードのリストから選択できます。ジョイスティックを押して、選択内容を確認します。



- ・ **標準**：モニターのデフォルトの色設定をロードします。これは、デフォルトのプリセットモードです。
- ・ **ComfortView**：スクリーンから放射されるブルーライトのレベルを軽減させ、スクリーンを見やすくします。



プリセット モード

警告：モニターから放出されるブルーライトを長時間見続けると、デジタルアイ、眼精疲労を含め、目に影響を与えます。長時間モニターを見続けると、首、腕、背中、肩など身体に痛みが生じる場合があります。

モニターを長時間使用することから生じる目の疲れ、首 / 腕 / 背中 / 肩の痛みを軽減するには、次のことをお勧めします。

1. スクリーンを 20 インチ - 28 インチ (50 cm - 70 cm) 離れた位置に設置します。
 2. モニターを長時間見た後は、瞬きを頻回にしたり、目を水で潤すなどして、目の渇きを防ぎます。
 3. 2 時間毎に 20 分の休憩を入れてください。
 4. 休憩中はモニターから目を離し、20 フィート先にある物を 20 秒以上見つめてください。
 5. 休憩中は、ストレッチを行い、首 / 腕 / 背中 / 肩の緊張をほぐします。
- ・ **ムービー**：ムービーに適した色設定をロードします。
 - ・ **ゲーム**：ほとんどのゲームアプリケーションに適した色設定をロードします。
 - ・ **色温度**：次の色温度を選択できます：5000K、5700K、6500K、7500K、9300K、10000K。ジョイスティックを押して、選択内容を確定します。
 - ・ **色空間**：色空間を次のように設定できます：
 - **sRGB**：100% sRGB 一致します。
 - **DCI-P3**：95% の DCI-P3 デジタルシネマ色標準で再生します。
-



プリセット モード

注：色空間に **DCI-P3** を選択すると、バックライトのルミノサンスは 48 cd/m^2 （標準）にデフォルト設定されます。バックライトのルミノサンスは、OSD メニューの **輝度 / コントラスト** から **輝度機能** を選択すると調整できます。

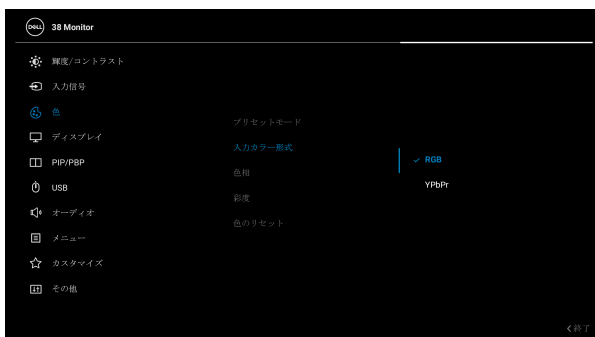
- ・ **ユーザーカラー**：色設定を手動で調整します。ジョイスティックを動かして **ゲイン**、**オフセット**、**色相**、**彩度**の値を調整し、独自のプリセット色モードを作成します。

入力カラー形式

ビデオ入力モードを次のように設定できます：

- ・ **RGB**：モニターが USB Type-C、DisplayPort または HDMI ケーブルを使用してコンピューターまたはメディアプレーヤーに接続されている場合は、このオプションを選択します。
- ・ **YPbPr**：メディアプレーヤーが YPbPr 出力しかサポートしていない場合は、このオプションを選択してください。

ジョイスティックを押して、選択内容を確定します。



色相

この機能により、ビデオ画像の色は緑または紫にシフトします。色相は、望ましいフレッシュな色調を調整するために使用されます。ジョイスティックを使って、色相レベルを 0 から 100 の範囲で調整します。

注：色相調整は、ムービーまたはゲームプリセットモードでのみ使用できます。

彩度

この機能は、ビデオ画像の色の彩度を調整します。ジョイスティックを使って、彩度レベルを 0 から 100 の範囲で調整します。

注：彩度調整は、ムービーまたはゲームプリセットモードでのみ使用できます。

色のリセット

モニターの色設定を工場出荷時の設定にリセットします。



ディスプレイ

ディスプレイメニューを使って画像を調整します。



アスペクト比

画像の比率は**ワイド 21:9**、**自動サイズ変更**、**4:3**、**ピクセルフォアピクセル**に設定できます。

シャープネス

この機能を使って、画像をよりシャープにまたはソフトにします。

ジョイスティックを使って、シャープネスレベルを 0 から 100 の範囲で調整します。



応答時間

応答時間を通常または高速に設定できます。

統一性補正

スクリーンの統一性補正の設定を選択します。工場出荷時の調整設定は、デフォルトでオンになっています。統一性補正は中心に関して画面のさまざまな領域を調整し、画面全体の均一性輝度とカラーを達成します。画面を最適な状態にするために、この機能がオンになっているとき、一部のプリセットモード（標準、色温度）の輝度とコントラストが無効になります。

注：この機能がオンになっているとき、輝度を工場出荷時の初期設定に戻すようにお勧めします。他の輝度レベルに設定する場合、統一性補正の性能は出荷時較正レポートに示されたデータから外れることがあります。

USB-C 優先順位

USB Type-C ポート / DisplayPort を使用しているときに、高解像度（高解像度）または高速（高データ速度）でデータを転送する順位を指定します。



画面のリセット

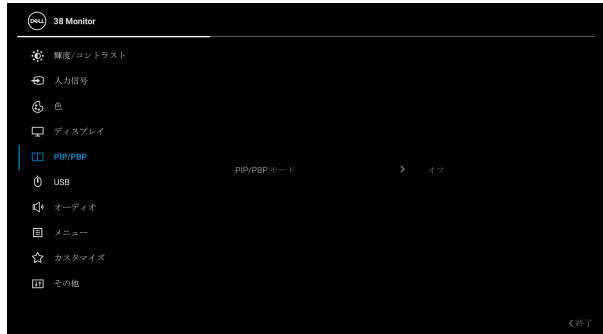
すべてのディスプレイ設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。





PIP/PBP

この機能は別の入力ソースから取り込んだ画像が表示されたウィンドウを映し出します。ジョイスティックを押して、選択内容を確定します。

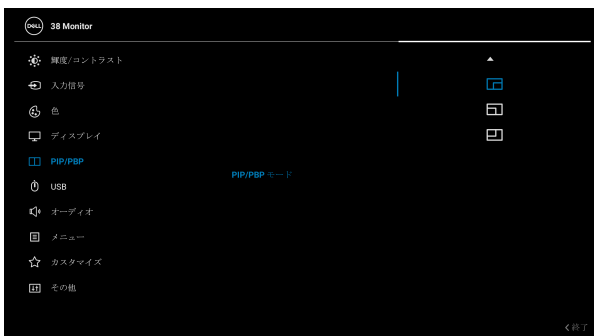
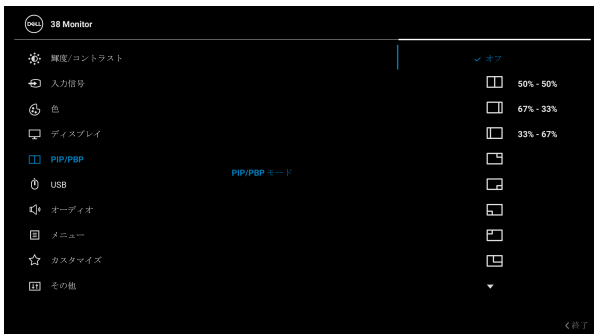


メインウィンドウ	サブウィンドウ			
	USB Type-C	DP	HDMI 1	HDMI 2
USB Type-C	—	✓	✓	✓
DP	✓	—	✓	✓
HDMI 1	✓	✓	—	✓
HDMI 2	✓	✓	✓	—

注： PBP モードでの画像は分割画面の中央に表示されます。



PIP/PBP モード プリセット一覧から、サブ画面のサイズと位置が異なる PBP または PIP モードを選択できます。選択肢はグラフで表示されますので、レイアウト設定が一目でわかります。デフォルト設定はオフです。



PIP/PBP (サブ)

PIP/PBP サブウィンドウに用に、モニターに接続できる他のビデオ信号を選択します。ジョイスティックを押して、選択内容を確定します。

注：このオプションは、PIP/PBP モードがオンの場合にのみ使用できます。



USB スイッチ	PIP/PBP モードで USB アップストリーム ソースを切り換えます。 注： このオプションは、PIP/PBP モードがオンの場合にのみ使用できます。
ビデオ入れ替え	PIP/PBP モードのメイン画面とサブ画面のビデオを入れ替えます。ジョイスティックを押して、選択内容を確定します。 注： このオプションは、PIP/PBP モードがオンの場合にのみ使用できます。
オーディオ	メインウィンドウかサブウィンドウからオーディオソースを選択できます。 注： このオプションは、PIP/PBP モードがオンの場合にのみ使用できます。
コントラスト (サブ)	PIP/PBP モードで画像のコントラストレベルを調整します。 ジョイスティックを使って、コントラストレベルを 0 から 100 の範囲で調整します。 注： このオプションは、PIP/PBP モードがオンの場合にのみ使用できます。



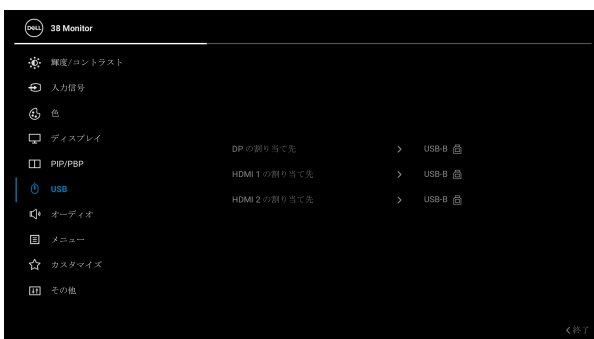


USB

入力信号用 USB アップストリーム ポート（DP、HDMI 1、HDMI 2）を設定することができるため、コンピューターをアップストリーム ポートに繋いであるとき、モニターの USB ダウンストリーム ポート（キーボードやマウス）を現在の入力信号で使用することができます。詳細は、[KVM スイッチの設定](#)もご覧ください。

ジョイスティックを押して、選択内容を確定します。

アップストリーム ポートが1つしかない場合は、接続されているアップストリーム ポートが有効になります。

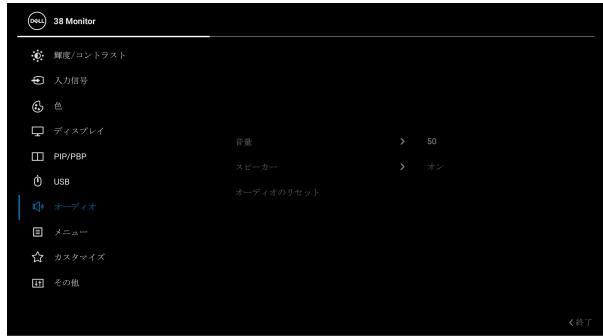


注：データの破損や損失を防止するために、USB アップストリーム ポートを外す前に、モニターの USB ダウンストリーム ポートに接続されているコンピューターが USB ストレージ デバイスを使用していないことを確認してください。





オーディオ



音量 スピーカーの音量を確認できます。
ジョイスティックを使って、音量レベルを0から100の範囲で調整します。

スピーカー スピーカーを有効または無効にします。

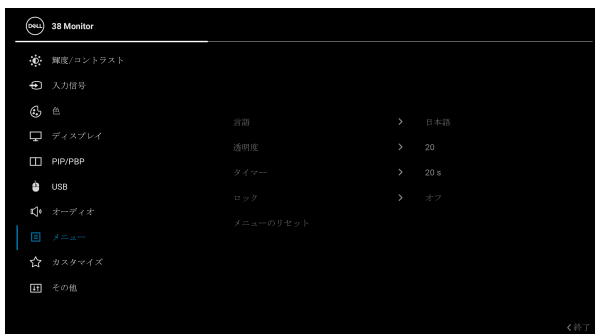
オーディオのリセット デフォルトの音設定に戻します。





メニュー

このオプションを選択して、OSD の言語、メニューが画面に表示されている時間など、OSD の設定を調整します。



言語

OSD ディスプレイを 8 つの言語（英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語、日本語）の 1 つに設定する言語オプション。

透明度

このオプションを選択し、ジョイスティックを動かしてメニュー透明化を変更します（最小 0 / 最大 100）。

タイマー

ボタンを最後に押してから OSD が有効になっている時間の長さを設定します。
ジョイスティック使ってスライダーを 5 ~ 60 秒まで、1 秒刻みで調整します。



ロック

モニターの制御ボタンをロックすると、他の人は制御できなくなります。また、複数のモニターを横に並べたとき、誤って操作してしまうのを防止することもできます。



- ・ **メニューボタン**：すべてのジョイスティック機能はロックされ、ユーザーはアクセスできなくなります。
- ・ **電源ボタン**：電源ボタンだけがロックされ、ユーザーはアクセスできなくなります。
- ・ **メニュー + 電源ボタン**：ジョイスティックと電源ボタンの両方がロックされ、ユーザーはアクセスできなくなります。

デフォルト設定は**オフ**です。

代替ロック方式：ジョイスティックを上/下/左/右に4秒間動かしたままにすると、ポップアップメニューからロックオプションを設定できます。その後で、ジョイスティックを押して構成内容を確定します。

注：ロック解除するには、ジョイスティックを上/下/左/右に4秒間動かしたままにして、ジョイスティックを押して変更内容を確定します。その後、ポップアップメニューは閉じます。



メニューのリセット

すべての OSD 設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。



カスタマイズ



ショートカットキー 1

プリセットモード、輝度/コントラスト、入力信号、アスペクト比、PIP/PBP モード、USB ス

ショートカットキー 2

イッチ、ビデオ入れ替え、音量、ディスプレイ情報の中から機能を選択し、ショートカットキーと

ショートカットキー 3

して設定することができます。

ショートカットキー 4

ショートカットキー 5

LED 電源ボタン

節電のために、電源 LED インジケーターのオン/オフを設定できます。

USB-C 充電

デフォルト設定は、オフモード時はオフです。オフモード時はオンを選択すると、本製品は電源が切れているときにも、USB Type-C ケーブルを使用してノートブックやモバイルデバイスを充電することができます。



その他の USB 充電

モニターがスタンバイモードのときに、USB Type-A および USB Type-C ダウンストリームポート充電機能を有効/無効にすることができます。

注: このオプションは、USB Type-C (アップストリームポート) ケーブルを外さなければご使用いただけません。USB Type-C ケーブルが接続された状態では**その他の USB 充電**は USB ホストの電源状態に従うため、このオプションが有効になりません。

高速復帰

デフォルト設定は**オフ**です。**オン**を選択すると、モニターはスタンバイモードに入りません。

ジョイスティックを押すと、スタンバイモードになった後でモニターも復帰します。

カスタマイズのリセット

カスタマイズメニューですべての設定を初期値に戻します。



その他

DDC/CI、LCD コンディショニングなど、OSD 設定を調整する場合はこのオプションを選択します。



ディスプレイ情報

モニターの現在の設定が表示されます。



DDC/CI

DDC/CI（ディスプレイ データチャンネル / コマンド インターフェイス）は、コンピューターのソフトウェアからモニター設定を調整するための機能です。オフを選択すると、この機能が無効になります。

ユーザー体験を最大限に高め、モニターのパフォーマンスを最適にする場合、この機能を有効にします。



LCD コンディショニング

画像保持の微細な問題を軽減します。画像保持の程度によっては、プログラムが実行されるまでに少し時間がかかることがあります。オンを選択することで、この機能を有効にできます。



ファームウェア モニターのファームウェアバージョンを表示します。

サービスタグ モニターのサービスタグを表示します。このタグは、Dell のホームページ等で電話サポートを依頼したり、保証状況を確認したり、ドライバをアップデートしたりするときが必要です。

他をリセット その他メニューですべての設定を初期値に戻します。

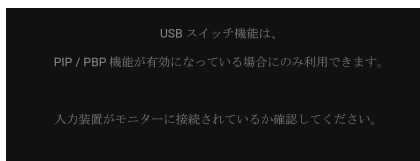


工場リセット すべてのプリセット値を初期値に戻してください。ENERGY STAR® テストの設定もあります。



OSD 警告メッセージ

メニューランチャーから **USB スイッチ ホットキー** を選択すると、**PIP/PBP 機能が無効になっている**と、次のメッセージが表示されます。

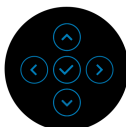


モニターが特定の解像度モードをサポートしていないとき、次のメッセージが表示されます：

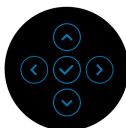



これは、モニターがコンピューターから受信している信号と同期できないことを意味します。このモニターが使用できる水平および垂直周波数幅については、[モニター仕様](#)を参照してください。推奨モードは **3840 x 1600** です。

DDC/CI 機能が無効になる前に、次のメッセージが表示されます：

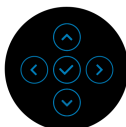


初めて輝度レベルをデフォルト値以上に調整するとき、次のメッセージが表示されます。



 **注：** はいを選択すると、次回輝度設定を変更しようとしてもこのメッセージは表示されません。

初めて USB-C 4 90W 充電、その他の USB 充電、統一性補正、高速復帰などの省エネ機能のデフォルト値を変更すると、次のメッセージが表示されます：



注：上記のいずれかの機能で はいを選択すると、次回これらの機能の設定を変更しようとしてもこのメッセージは表示されません。初期値にリセットすると、メッセージが再度表示されます。

モニターがスタンバイモードに入ると、次のメッセージが表示されます：



コンピューターを有効にして、モニターを立ち上げ、OSD にアクセスします。OSD は、通常の動作モードでのみ機能します。スタンバイモードでジョイスティックを押すと、選択した入力によって次のメッセージが表示されます：



コンピューターがアクティブになり、モニターで OSD にアクセスできるようになります。

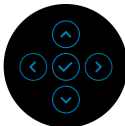
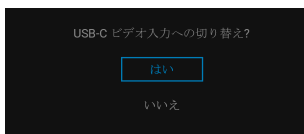
注：接続した入力信号によっては、メッセージが異なる場合があります。USB Type-C、DisplayPort または HDMI 入力を選択されているが相当するケーブルが接続されていない場合、以下のようなメッセージが表示されます：



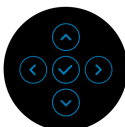
注：接続した入力信号によっては、メッセージが異なる場合があります。




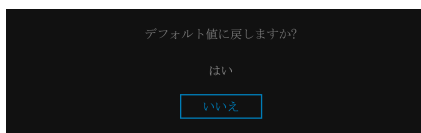
モニターが DP/HDMI 入力に設定されており、USB Type-C ケーブルで DP 代替モードに対応するノートブックに接続されている場合は、**USB-C の自動選択**が有効になっていると、次のメッセージが表示されます。



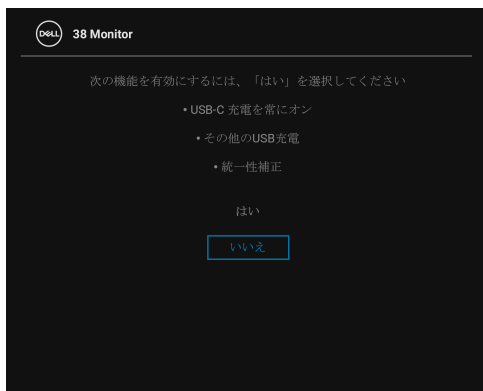
ロック機能が有効になる前に、次のメッセージが表示されます：



 **注：接続した設定によっては、メッセージが多少異なる場合があります。工場リセットを選択すると、次のメッセージが表示されます：**



はいを選択すると、次のメッセージが表示されます。



詳細は、[問題を解決する](#)を参照してください。



最大解像度を設定する

モニターの最大解像度を設定するには：

Windows[®] 7、Windows[®] 8、Windows[®] 8.1：

1. Windows[®] 8 および Windows[®] 8.1 専用です。デスクトップ タイルを選択して、元々のデスクトップに切り替えます。
2. デスクトップで右クリックして、**画面の解像度**をクリックします。
3. **画面の解像度**のドロップダウン リストをクリックし、**3840 x 1600** を選択します。
4. **OK** をクリックします。

Windows[®] 10：

1. デスクトップ上を右クリックし、**ディスプレイの設定**をクリックします。
2. **ディスプレイの詳細設定**をクリックします。
3. **解像度**のドロップダウン リストをクリックし、**3840 x 1600** を選択します。
4. **適用**をクリックします。

オプションとして 3840 x 1600 がない場合は、グラフィック ドライバを更新する必要があります。コンピューターによっては、以下の手順のいずれかを完了してください：

Dell デスクトップまたはポータブル コンピューターをご使用の場合：

- ・ <http://www.dell.com/support> に移動し、サービス タグを入力したら、グラフィックス カードの最新ドライバをダウンロードしてください。

Dell 以外のコンピューター（ポータブルまたはデスクトップ）をお使いの場合：

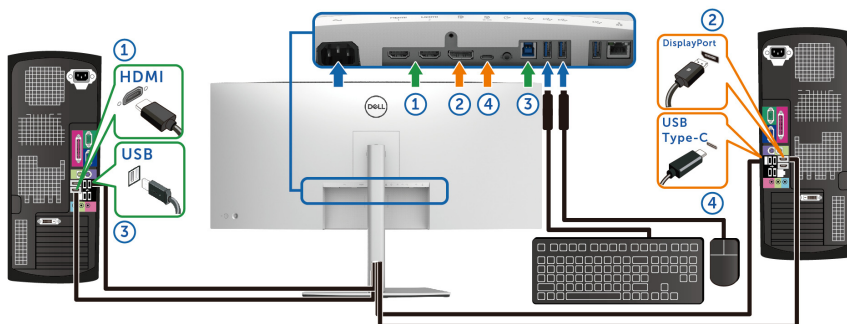
- ・ コンピューターのサポート サイトにアクセスして、最新のグラフィックス ドライバをダウンロードします。
- ・ グラフィックス カード ウェブサイトに進み、最新のグラフィックス ドライバをダウンロードします。



KVM スイッチの設定

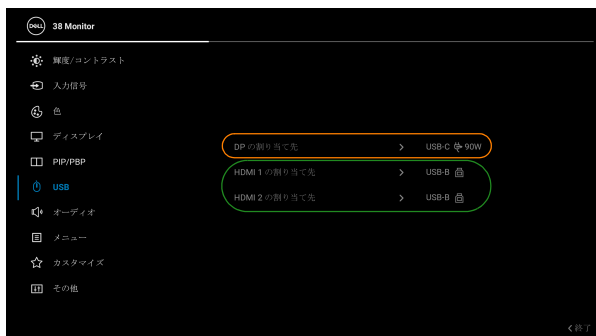
内蔵された KVM スイッチは、モニターに接続されたキーボードとマウスを 1 組のセットとして最大で 2 台のコンピューターを制御することができます。

- a. HDMI + USB-B をコンピューター 1 に、DP + USB-C をコンピューター 2 に接続する場合：

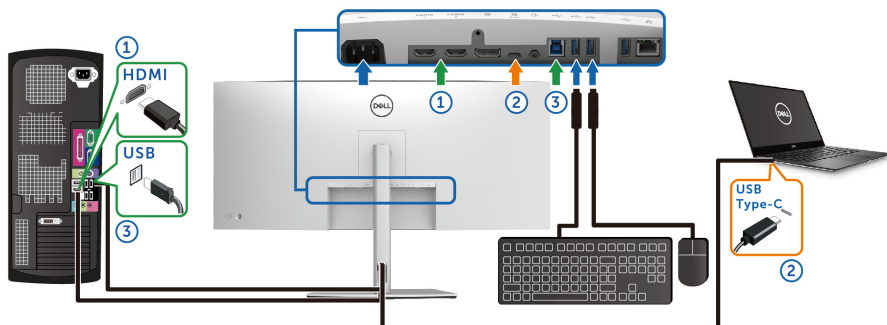


注：現時点では、USB Type-C 接続はデータ転送にしか対応しておりません。

HDMI の USB が USB-B 色 に、DP が USB-C 色 に 90W に割り当てられていることを確認してください。

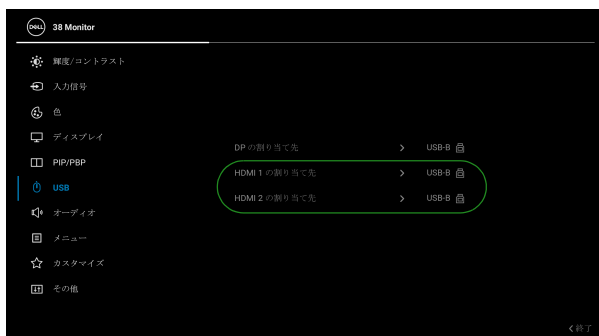


b. HDMI + USB-B をコンピューター 1 に、USB-C をコンピューター 2 に接続する場合：



注：現時点では、USB Type-C 接続は映像およびデータ転送に対応していません。

HDMI の USB が USB-B になっていることを確認してください。



注：USB Type-C ポートは DisplayPort 代替モードに対応しているため、USB-C の USB を設定する必要はありません。

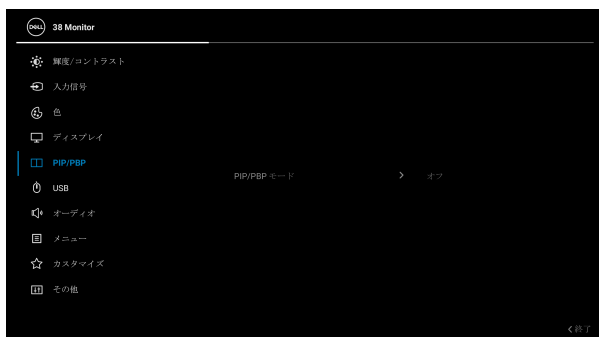
注：上記以外のビデオ入力源を接続する場合は、手順にしたがって USB がポートとペアリングされるように正しく設定してください。



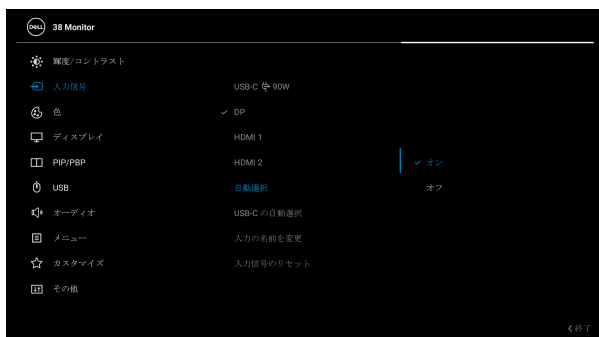
自動 KVM の設定

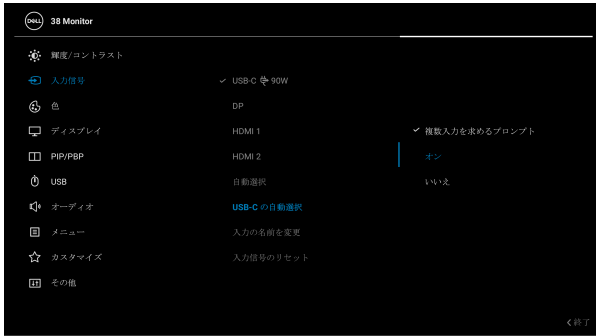
次の手順に従って、モニターの自動 KVM を設定してください。

1. PIP/PBP モードがオフに設定されていることを確認してください。




2. 自動選択がオンであり、USB-C の自動選択がはいに設定されていることを確認してください。






3. USB ポートとビデオ入力が正しくペアリングされていることを確認してください。



 注：USB Type-C 接続の場合は、これ以上の設定は必要ありません。

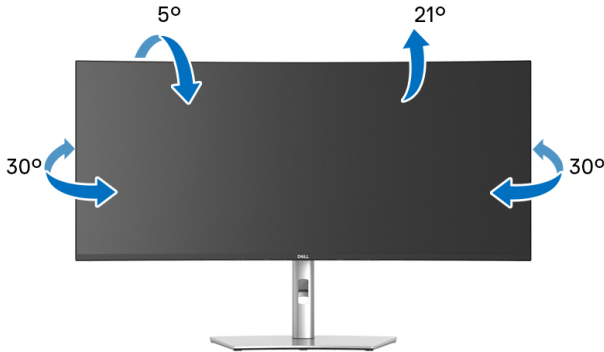



傾き、旋回、垂直に伸ばす

 注：次の手順は、モニター付属のスタンドを接続するための説明です。本製品に付属されていないスタンドを取り付ける場合は、そのスタンドのメーカーの指示に従って設定してください。

傾き、旋回

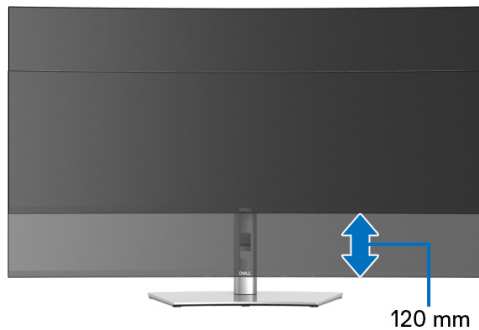
モニターにスタンドを取り付けると、モニターを最も快適な角度に傾斜させたり、向きを変えたりすることができます。



 注：出荷時には、スタンドは設置されていません。

垂直に伸ばす

 注：スタンドは、垂直に最大 120 mm 伸ばせます。下の図で、伸ばし方を示します。



傾き調整

モニターにスタンドを取り付けると、傾き調整機能でモニターを最も快適な角度に調整することができます。



問題を解決する

⚠ **警告**：このセクションで手続きをはじめる前に、**安全指示**に従ってください。

自己テスト

お使いのモニターには、自己テスト機能が装備され、適切に機能しているかどうかを確認できます。モニターとコンピューターが適切に接続されていて、モニタースクリーンが暗い場合は、次の手順でモニター自己テストを実行してください：

1. コンピューターとモニター両方の電源をオフにする。
2. コンピューターからビデオ ケーブルを外す。
3. モニターの電源をオンにする。

モニターが映像信号を認識せず、正しく映らない場合は、次のメッセージが表示されます：



注：接続した入力信号によっては、メッセージが異なる場合があります。

注：自己テストモードでは、電源 LED が白になります。

4. ビデオ ケーブルが外されているか、または破損している場合、通常システムの運転中、このボックスが表示されます。
5. モニターの電源をオフにして、ビデオ ケーブルを再接続し、次にコンピューターとモニター両方の電源をオンにします。

前の手順を行った後もモニタースクリーンに何も表示されない場合、モニターが適切に機能していないため、ビデオ コントローラーおよびコンピューターをチェックしてください。

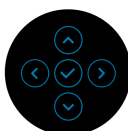



内蔵診断

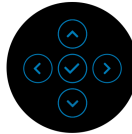
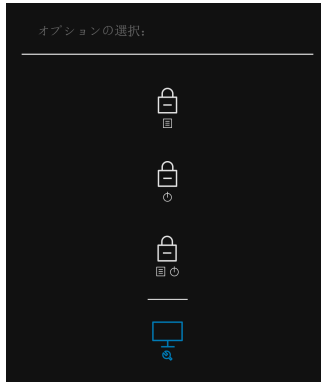
モニターには内蔵の診断ツールが付属しており、発生している画面の異常がモニターに固有の問題か、またはコンピューターやビデオカードに固有の問題かを判断します。

内蔵診断を実行するには、以下の手順に従います：

1. 画面がきれいであること（または、画面の表面に塵粒がないこと）を確認します。
2. ポップアップメニューが表示されるまでジョイスティックを上 / 下 / 左 / 右に約 4 秒間動かし続けます。



3. ジョイスティックを動かして診断アイコン  をハイライト表示し、ジョイスティックを押して確定します。すると、グレイのテストパターンが表示されます。



4. 画面に異常がないか、慎重に検査します。
5. ジョイスティックを押して、テストパターンを変更します。
6. ステップ4と5を繰り返して、赤、緑、青、黒、白い色の画面およびテキスト画面についてもディスプレイを検査します。
7. ジョイスティックを押して、診断プログラムを終了します。



よくある問題

次の表には、発生する可能性のあるモニターのよくある問題と考えられる解決策に関する一般情報が含まれます：

一般的な症状	発生した問題	実行可能な解決策
ビデオなし / 電源 LED オフ	画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">・ コンピューターにモニターを接続しているビデオ ケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。・ 他の電気機器を使用して、コンセントが正しく機能していることを確認します。・ 電源ボタンが完全に押されていることを確認します。・ 入力信号メニューにより適切な入力信号が選択されていることを確認してください。
ビデオなし / 電源 LED オン	画像なし、または輝度がない	<ul style="list-style-type: none">・ OSD によって、輝度とコントラスト コントロールを増加します。・ モニター自己診断テスト機能 チェックを実行します。・ ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。・ 内蔵診断を実行します。・ 入力信号メニューにより適切な入力信号が選択されていることを確認してください。
フォーカスが弱い	画像が不鮮明か、ぼやけているか、または薄れている	<ul style="list-style-type: none">・ ビデオ拡張ケーブルを外します。・ モニターを工場出荷時設定にリセットします。・ ビデオ解像度を正しいアスペクト比に変更します。



ビデオが揺れたり/ずれたりする	画像が波打ったり、微妙にぶれる	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ・ 環境係数をチェックします。 ・ モニターの場所を変えて、他の部屋でテストします。
ピクセルが抜けている	LCD スクリーンに点が入る	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイクル電源オン - オフ。 ・ 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーに固有の欠陥です。 ・ Dell 社のモニターの品質とピクセルに関する方針の詳細、詳細については、Dell サポート www.dell.com/pixelguidelines。
ドット落ち	LCD スクリーンに明るい点が入る	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイクル電源オン - オフ。 ・ 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーに固有の欠陥です。 ・ Dell 社のモニターの品質とピクセルに関する方針の詳細、詳細については、Dell サポート www.dell.com/pixelguidelines。
輝度の問題	画像が薄すぎるか、明るすぎる	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ・ OSD によって、輝度とコントラストコントロールを調整します。
幾何歪曲	スクリーンが正確にセンタリングされていない	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニターを工場出荷時設定にリセットします。



水平 / 垂直ライン	スクリーンに複数の線が入る	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ・ モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テストモードでも入るかどうかを確認します。 ・ ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 ・ 内蔵診断を実行します。
同期化の問題	スクリーンがスクランブル状態か、磨り減って見える	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ・ モニター自己テスト機能チェックを行い、スクランブル状態のスクリーンが自己テストモードでも入るかどうかを確認します。 ・ ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 ・ セーフモードでコンピューターを再起動します。
安全関連問題	スモークまたはスパークの明らかな症状	<ul style="list-style-type: none"> ・ トラブルシューティング手順を実行しないでください。 ・ 直ちに Dell にご連絡ください。
断続的問題	モニターの誤作動をオンおよびオフ	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピューターにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 ・ モニターを工場出荷時設定にリセットします。 ・ モニター自己テスト機能チェックを行い、断続的問題が自己テストモードでも発生するかどうかを確認します。



色が欠けている	画像の色が欠けている	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。 ・ コンピューターにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 ・ ビデオ ケーブルコネクターに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。
色違い	画像の色が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> ・ アプリケーションによって、色メニュー OSD のプリセットモードの設定を変更します。 ・ 色メニュー OSD のユーザーカラーで R/G/B 値を調整してください。 ・ 色メニュー OSD で、入力カラー形式を PC RGB または YPbPr に変更します。 ・ 内蔵診断を実行します。
長時間モニターに静止画像を表示したために起こる画像の焼き付き	表示された静止画像のかすかな影が画面に表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクリーンが無作動状況になってから、数分でスクリーンがオフになるように設定します。これらの設定は、Windows 電源オプションまたは Mac 省エネルギー設定で調整できます。 ・ または、動的に変わるスクリーンセーバーを使用します。
画質（ネイティブ解像度のリフレッシュレートが 60 Hz から 30 Hz に変わります。または、色深度が 18 ビットに落ちます）	正しくないリフレッシュレートまたは色欠けの問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ USB-C 優先順位を高解像度に設定します。



製品特有の問題

一般的な症状	発生した問題	実行可能な解決策
スクリーン画像が小さい	画像がスクリーン上でセンタリングされているが、全表示領域を満たしていない	<ul style="list-style-type: none">・ ディスプレイメニュー OSD で、アスペクト比設定を確認します。・ モニターを工場出荷時設定にリセットします。
ジョイスティックでモニターを調整できない	OSD がスクリーン上に表示されない	<ul style="list-style-type: none">・ モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差し、電源を入れます。・ OSD メニューがロックされているかどうか確認します。ロックされている場合は、ジョイスティックを上 / 下 / 左 / 右に約 4 秒間動かし続けるとロック解除できます（詳細は、ロックを参照してください）。
ユーザコントローラーを押しても入力信号がない	画像が表示されず、LED が白く点灯	<ul style="list-style-type: none">・ 信号ソースをチェックします。マウスを動かすかキーボードのどれかのキーを押して、コンピューターが省電力モードに入っていないことを確認します。・ 信号ケーブルが正しく差し込まれているかどうかをチェックします。必要に応じて、信号ケーブルを差し込み直してください。・ コンピューターまたはビデオプレーヤーを再起動します。
ピクチャが画面全体に表示されない	ピクチャを画面の高さまたは幅いっぱいに表示できない	<ul style="list-style-type: none">・ DVD の異なるビデオ形式により、モニターが全画面で表示できないことがあります。・ 内蔵診断を実行します。



HDMI/DisplayPort/USB Type-C ポートから映像が映らない	ポートにハードウェアキー/ドッキングデバイスが接続してあるとき、ノートブックからケーブルを外す/接続すると映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ハードウェアキー/ドッキングデバイスから HDMI/DisplayPort/USB Type-C ケーブルを外し、ドッキング HDMI/DisplayPort/USB Type-C ケーブルをノートブックに接続します。
ネットワーク接続なし	ネットワークが切断される、途切れる	<ul style="list-style-type: none"> USB-C 優先順位が高データ速度に設定されていることを確認してください。 ネットワーク接続時はディスプレイの電源を切らないでください。

ユニバーサル シリアル バス (USB) 特有の問題

一般的な症状	発生した問題	実行可能な解決策
USB インターフェースが作動していない	USB 周辺機器が作動していない	<ul style="list-style-type: none"> モニターの電源がオンになっているかをチェックします。 アップストリーム ケーブルをコンピューターに再接続します。 USB 周辺機器 (ダウンストリームコネクター) を再接続します。 電源をオフにして、もう一度モニターをオンにします。 コンピューターを再起動します。 外付けポータブル HDD のような一部の USB デバイスは、高い電流を必要とすることがあります。デバイスをコンピューター システムに直接接続してください。



USB Type-C ポートは電源を供給しません	USB 周辺機器を充電することができません	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続したデバイスが USB-C 仕様に準拠しているか確認してください。USB Type-C ポートは、90 W 出力と USB 3.2 Gen1 に対応しています。 ・ 必ずモニター付属の USB Type-C ケーブルをお使いください。
超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) インターフェイスが遅い	超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) 周辺機器が遅いか、まったく作動しない	<ul style="list-style-type: none"> ・ お使いのコンピューターが超高速 USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) に対応していることを確認してください。 ・ コンピューターの中には、USB 3.2、USB 2.0 と USB 1.1 ポートの両方を搭載しているものもあります。正しい USB ポートを使用されていることを確認してください。 ・ アップストリーム ケーブルをコンピューターに再接続します。 ・ USB 周辺機器 (ダウンストリームコネクタ) を再接続します。 ・ コンピューターを再起動します。
ワイヤレス USB 周辺機器は、USB 3.2 デバイスを繋ぐと作動を停止します	ワイヤレス USB 周辺機器は応答が遅くなるか、その周辺機器と受信装置の距離が短くなると作動します	<ul style="list-style-type: none"> ・ USB 3.2 周辺機器とワイヤレス USB 受信装置の距離をあげます。 ・ ワイヤレス USB 受信装置とワイヤレス USB 周辺機器の距離をできるだけ短くしてください。 ・ USB 延長ケーブルを使って、ワイヤレス USB 受信装置をできるだけ USB 3.2 ポートから遠ざけてください。



スピーカー特有の問題

一般的な症状	発生した問題	実行可能な解決策
外部スピーカーから音がでない	音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none">・ モニターの電源を切り、一旦モニターの電源コードを抜いてからもう一度差し込んでください。その後で、再びモニターをオンにします。・ オーディオケーブルが正しくオーディオ出力ポートと外部スピーカーに接続されているか確認してください。・ 正しくオーディオ出力ポートのオーディオケーブルを外部スピーカーから外し、再度接続します。・ モニターを工場出荷時設定にリセットします。



付録

警告：安全指示

⚠ 警告：このマニュアルで指定された以外のコントロール、調整、または手順を使用すると、感電、電氣的障害、または機械的障害を招く結果となります。

安全についての説明は、安全、環境および規制情報 (SERI) をご覧ください。

米国連邦通信委員会 (FCC) 通告（米国内のみ）およびその他規制に関する情報

米国連邦通信委員会 (FCC) 通告（米国内のみ）およびその他規制に関する情報に関しては、規制コンプライアンスに関するウェブページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。

Dell へのお問い合わせ

米国のお客様の場合、800-WWW-DELL (800-999-3355) にお電話ください。

📄 注：インターネット接続をアクティブにしていない場合、仕入送り状、パッキングスリップ、請求書、または Dell 製品カタログで連絡先情報を調べることができます。

Dell では、いくつかのオンラインおよび電話ベースのサポートとサービス オプションを提供しています。利用可能性は国と製品によって異なり、お客様の居住地によってはご利用いただけないサービスもあります。

- ・ オンライン テクニカルアシスタンス — www.dell.com/support/monitors
- ・ Dell へのお問い合わせ — www.dell.com/contactdell

エネルギーラベルおよび製品情報シートが記載された EU 製品データベース

U3821DW : <https://eprel.ec.europa.eu/qr/388093>

